



【学校教育目標】 社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.12

令和8年1月7日
京都市立東山泉小中学校
校長 福田 博天



新年のご挨拶

新春の候、皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年は午年。「駆ける馬」のように、勢いよく前へ進む一年にしたいと思います。

本校の教育目標である

「社会や人との関わりの中で真の逞しさを身につけた児童生徒の育成」

を胸に、子どもたちが仲間とともに学び合い、困難に立ち向かう力を養いながら、未来に向かって力強く歩みを進めていけるよう、教職員一同、心を込めて支えてまいります。

また、保護者の皆さまには、日頃より学校教育への深いご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。本年も、子どもたちの健やかな成長のために、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。さらに、地域の皆さまには、子どもたちの安全・安心な環境づくりや、豊かな学びを支える活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。学校と地域が一体となり、子どもたちの笑顔があふれる一年となりますよう、心から願っております。



午年にちなんで～前へ進む力を大切に～

十二支の「午」は、もともと馬を表す漢字と深い関係があります。昔の人々は、力強く走る馬の姿を「勢い」や「発展」の象徴と考えました。そのため午年は「行動力」「前進」「挑戦」を意味する年とされています。新しいことに挑戦するのにぴったりの一年です。

馬は古くから人間の生活に欠かせない存在でした。農作業や荷物の運搬、遠い場所への移動など、私たちの暮らしを支えてきました。今でも「馬力」という言葉がエンジンの力を表す単位として使われています。馬のスピードや力強さは、努力と成長の象徴でもあります。

ことわざにも馬にまつわるものがたくさんあります。「馬の耳に念仏」は、聞いても理解しないことを意味します。学びには、ただ聞くだけでなく考えることが大切です。また「駿馬は鞭影を見て進む」という言葉もあります。優れた馬は鞭を打たなくても影を見て進むという意味で、自分から進んで学ぶ姿勢の大切さを教えてくれます。

午年の今年、子どもたちには「前へ進む力」を大切にしてほしいと思います。失敗を恐れず、挑戦する気持ち

を持ちましょう。そして、保護者や地域の皆さまとともに、子どもたちが力強く、しなやかに成長できるよう支えてまいります。馬のように仲間とともに駆け抜ける一年となりますよう、心より願っております。

